

橋詰壽人市長は各議案の提案説明に先立ち、「市制施行50周年記念事業については、10月1日に記念式典および祝賀会を挙行了しました。多数の関係者各位のご出席を賜り、盛大に開催することができました。そのほかにも『NHKのど自慢』や『地産地消フェア』など、各種の記念事業を実施しました。ご協力、ご参加いただいた市民の皆さまに、感謝申し上げます。学校施設整備については、懸案の香長中学校校舎の増改築本体工事を、本年度内の着工を目指して準備を進めており、北陵中学校屋内運動場の増改築本体工事も、武道場整備と併せて本年度中に着工します。また、新型インフルエンザ対策については、すでに本格的な流行が始まっており、市内小・中学校や保育所では学級閉鎖などの対応をしています。ワクチン接種も始まっており、引き続き、県や関係機関との連携による適切な対応と、市民の皆さまへの正確な情報提供と迅速な対応に努めます」と述べた後、主要な課題について報告しました。（内容は、あまします）

## 財政状況

計画的な財政の健全化を  
平成21年度決算は、基金の取り崩しも予想され依然として厳しい財政状況が続いています。平成22年度から3カ年の次期南国市中期財政収支ビジョンを策定し、引き続き計画的な財政の健全化に努めます。

来年度財政収支の見込みは、政権交代に伴い打ち出されている各種制度の創設、ガソリン税などの暫定税率の廃止など、地方行政に大きく関わる施策の詳細がまだ不明であるため、見通しが例年以上に不透明となっています。歳入は、市税収入が昨今の厳しい経済情勢により、また、地方交付税も国の仮試算では本年度比0.3%減となるなど、両税とも減少が予想されます。一方、歳出は、少子高齢化対策に伴う扶助費および後期高齢者医療関連事業費など、義務的経費の増大は避けられない状況です。平成22年度予算編成に当たっては、引き続きあらゆる歳入歳出の見直しを図り、限ら

れた財源の中で最大の行政効果を上げるべく、将来に向けた都市基盤整備、産業振興対策、教育・子育て支援・少子化対策、地震・防災対策、健康対策の5点を重点施策に掲げ、メリハリのある予算編成を行います。

## 市制50周年記念事業

式典、地産地消フェアなどの各種事業を開催  
市制施行50周年記念事業は、10月1日に記念式典を行います。特に、市内中学生二人による作文朗読に好評をいただきました。

そのほかに、「NHKのど自慢」を開催。10月11日の生放送本番には、約2千人の観覧者がありました。また、10月3日には、名誉市民やなせたかし氏をお招きし、「やなせたかしロードお披露目式」、「こめん生姜地蔵除幕式および記念コンサート」を実施しました。さらに、11月15日に、生産者団体など多くの関係団体のご協力により、「地産地消フェア」を開催し、市内外から多くの参加がありました。

## 定額給付金

給付終了、給付率99.1%  
定額給付金給付事業は、申請受付期間を終了し、対象となる2万1千546世帯のうち2万1千357世帯、99.1%に給付を行いました。また、子育て応援特別手当支給事業についても、654世帯のうち653世帯に支給しました。

## 防災関係

航空機事故を想定した  
消防救助の総合訓練を実施  
高知龍馬空港内での航空機事故を想定した消防救助・救護の総合訓練を行いました。負傷者に対し、土佐長岡郡医師会やDMAT（災害派遣医療チーム）と連携して訓練し、遺体安置所の設置や遺体搬送を行いました。また、情報伝達訓練を行いました。

## 介護保険事業

将来的な財源確保を  
危惧する意見が出される  
平成21年度南国市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定推進運営協議会、地域包括支援センター運営協議会、地域密着型サービス運営委員会を開催しました。委員から、利用者1人当たりの給付額が毎年増加している現状から将来的な財源確保を危惧する意見などが出されました。また、グループホームの指定更新に関する事務手続きについても、サービスの質を確保する観点から活発な議論が行われました。

## 新型インフルエンザ対策

予防接種情報を市民へ周知  
新型インフルエンザ対策は、ワクチン予防接種が医療従事者を対象に10月19日から開始され、ワクチンの優先接種対象者と接種スケジュール、接種医療機関など、注意事項も含め11月号広報で全戸配布し、市民への周知を図りました。

## 農林関係

早期米は「やや良」、  
普通期米は「平年並み」  
今年の本市の早期米は、5月上旬以降の高温・多照により、数値も平年に比べやや多く、作況指数103で「やや良」となり、市北部の普通期米は、「平年並み」となりました。平成21年産米価は、コシヒカリ1等で仮渡し金が対前年比で20%近く落ち込み、米栽培農家は今まで以上に経営が厳しい状況です。

## 商工水産関係

「全国龍馬ファンの集い」  
「つらゆき時代まつり」  
「軽トラ市」に多数参加  
「第21回全国龍馬ファンの集い南国大会」を開催し、県内外から多数の龍馬ファンが参加しました。翌日には、才谷で県外ファンを迎えて地元民の皆さまとおもてなしをしました。

また、「第14回土佐日記つらゆき時代まつり」と「第2回軽トラ市」が開催されました。今後、軽トラ市が定着するよう進めていきます。

## 地域雇用創造推進事業

8種の講座を30回実施  
国の地域雇用創造推進事業については、11月までに農業指導者研修や地域ブランド研究講座など8種の講座・研修を、短期間で合計30回開催しました。本事業は、雇用対策、高知県産業振興計画・物部川アクションプランを実現させるために重要な事業です。

## 工業団地造成事業

用地取得契約完了  
平成23年分譲開始を目指す工業団地造成事業は、用地取得が地権者および関係者のご理解とご協力により11月にすべての契約を完了しました。現在、造成工事の発注に向けた作業を行っています。1月から本格的に工事が始まり、平成23年の分譲開始を目指しています。



## 都市整備関係

篠原・南小籠地区の  
まちづくり基本構想作成へ  
篠原・南小籠地区のまちづくり基本調査は、10月に調査委託業者を決定、今後は現地調査と地元との協議を行いながら、まちづくりの基本構想を作成し、実現のための方策を検討します。

## 上下水道関係

浸水対策事業新川幹線1月  
完成予定、枝線は全線完成  
上水道事業については、大篠配水区と日章配水区への連絡管の最終区間の布設工事が、11月末に竣工し、現在、本年度内の送水開始に向け、残る切り替え工事を進めています。浸水対策事業新川幹線工事は、大埔交差点に係る重要区間70メートルの改修が1月末に完成予定であり、新川枝線工事は、計画区間180メートルが10月末に全線完成しましたので、新川児童公園周辺地区の浸水解消効果は大きいと思われまます。

## 教育関係

小・中学校3校で研究発表  
日章小学校、三和小学校、北陵中学校において研究発表会が開催されました。市教育研究所の研究指定校である日章小学校と三和小学校では、「英語活動」と「算数科」の取り組みを発表し、北陵中学校は、県指定の「中学校新教育課程拠点校」として、新学習指導要領の完全実施に向けた研究成果を発表しました。

また、第44回南国市社会福祉大会で、稲生小学校と香南中学校を、地域の方々と交流を継続してきたことや、これまで取り組んできたボランティア活動を評価し、「南国市ボランティア推進校」として認定しました。

例年1月に開催している「食育フォーラム」を「地産地消フェア」と同時に開催し、医学博士の本多京子氏を招いて「めざせ！食育健康家族」と題した講演を行いました。

